

ANNUAL REPORT
SUZUKI METHOD

2019

2019.4-2020.3



公益社団法人才能教育研究会 活動報告書2019

 公益社団法人
才能教育研究会

才能教育研究会本部事務局

所在地 〒390-8511 松本市深志3-10-3

TEL 0263-32-7171

FAX 0263-32-7451

メール talent@suzukimethod.or.jp

WEB <http://www.suzukimethod.or.jp>

CONTENTS

01. 活動報告 04

2019年度年間活動スケジュール

4-7月の活動

8-11月の活動

12-3月の活動

02. 取り組み 12

“コロナ”の時代を生きる ～オンラインレッスンへの挑戦～

スズキ指導者の取り組み

外部評価委員会からの提案

東京大学との共同研究

03. スズキ・メソッド紹介 16

2019年度 会計報告

2019年度 収入と支出の内訳

ご支援のお願い(賛助会員のご案内)

スズキ・メソッド 75年の歩み

私たちがスズキ・メソッドを応援しています ～特別講師からのメッセージ～



会長挨拶

MESSAGE from President



公益社団法人才能教育研究会 会長

早野 龍五
RYUGO HAYANO

世界の夜明けは子どもから。
スズキ・メソッドは75年のあゆみ 46の国と地域に。

突然広まった新型コロナウイルス感染症により、私たちは「新しい生活様式」を強いられることになりました。学びの場にも様々な影響が出ていますが、そんな時代にあっても、子どもが新たな環境に適応し、育っていく能力の高さには目を見張るものがあります。特に驚くべきは、どのお子さんも、お父さんやお母さんの話す言葉を毎日繰り返し聞くうちに、いつのまにか自在に言葉を話せるようになるという、素晴らしい能力を持っていることです。

この事実に驚き、どの子も育つとの信念を持ったヴァイオリニストの鈴木鎮一は、1946年に長野県松本市に音楽院を設立し、スズキ・メソッドを創始しました。その基本は母語教育法です。子どもが母語を覚えるように、幼い時から良い音楽を繰り返し聞き、楽器を毎日繰り返し練習することで、高い音楽性と豊かな心が育ちます。それに加えて育まれるのが、やる気、忍耐力、協調性などの非認知能力です。ノーベル経済学賞を受賞したヘックマン博士が「幼児期に非認知能力を育てることが、子どもの教育で最も大事なのだ」と指摘したことで、非認知能力は世界的に注目されるようになりましたが、実は、スズキ・メソッドこそが非認知能力を育てる先駆者なのです。

鈴木鎮一は「音楽を教えることが私の一番の目的ではありません。私は人を育てたいのです。良い音楽を聴き、演奏することを学べば、子ども達は感受性、規律、忍耐力などを身に付けることができます」と言いました。これこそ、まさに非認知能力ですね。75年におよぶスズキ・メソッドの成果は素晴らしいものです。多くの著名な音楽家を輩出しているのに加え、学界や産業界などさまざまな分野に、多くの人材を送り出してきました。現在では、スズキ・メソッドは46の国と地域に広まり、約40万人のお子さんがヴァイオリン、ピアノ、チェロ、フルートなどを学んでいます。

全世界で使われているスズキの教本は「キラキラ星」から始まり、毎日の練習を積み重ねることで、バッハやモーツァルトを美しい音で自在に弾けるように工夫されています。さらに、楽器の習得とともに育つ非認知能力は、一生の宝となるのです。時代が移っても変わることのないスズキ・メソッドの“想い”が一人でも多くのお子さんに届きますように。世界の夜明けは子どもから。

PROFILE

1952年生まれ。岐阜県大垣市出身の物理学者(理学博士)、東京大学名誉教授。幼少期に鈴木鎮一に師事し、1964年の才能教育研究会第1回アメリカ演奏旅行に参加。反物質の研究により仁科記念賞、中日文化賞を受賞。2016年より才能教育研究会第5代会長。近著に『知ろうとすること。』(新潮文庫:糸井重里との共著)。

01. 活動報告 Activity Report

2019年度年間活動スケジュール



4-7月 → P.06

4月

- ・プライアン・ミュージック・キャンプ開催
- ・スズキ・メソッドの子どもたち
ピアノ10台のコンサート開催

5月

- ・ピアノ科研究会開催
- ・OB・OG会第12回コンサート開催

6月

- 全国指導者研究会**
- ・ヴィオラ研究会開催

8月

夏期学校

- ・第8期定時総会開催

9月

- ・ピアノ科研究科全課程卒業生コンサート開催
- ・総合舞台劇
「音にいのちあり ～鈴木鎮一 愛と教育の生涯～」開催

7月

- ・ピアノ科指導者のための勉強会開催
- ・歌声サロン～音楽の小径～開催

8-11月 → P.08

10月

- ・第55回甲信地区大会開催
- ・第2回International Teacher
Trainers Convention開催
- ・国際スズキ協会 (ISA) 理事会開催

11月

- ・フランシスコ教皇 御前演奏
(東日本大震災被災者の集い)
- ・フルート科指導者たちによる研究会開催

12-3月 → P.10

12月

卒業検定制度 (検定作業12月-1月)

- ・第87回鈴木鎮一記念館コンサート開催
- ・ヴィオラ研究会開催

2月

- ・アジア・パシフィック・チェロ・コンGRES2020開催
- ・スズキ・メソッドの指導者養成プログラム説明会/
竹澤恭子先生のマスタークラス開催
- ・アジア・パシフィックのチェロ科指導者による
ワークショップ開催

3月

ピアノ科卒業式
(新型コロナウイルス
感染拡大防止のため中止)

1月

- ・関東地区指導者新年研究会開催
- ・鈴木鎮一夫妻の追悼ミサ開催
- ・第2回スズキ教育法研究会開催
- ・豊田耕児名誉会長によるマスタークラスコンサート開催
- ・関西グランドコンサート開催



〇1. 活動報告

4～7月の活動



全国指導者研究会

開催期間 2019年6月3日(月)～6月6日(木)
開催地 長野県松本市
参加者数 ヴァイオリン科・チェロ科
 フルート科・ピアノ科
 指導者及び特別講師 約500名

毎年6月上旬に全国のスズキ・メソッド指導者が松本に集まり、4日間の集中研究会を行います。各地区ブロックの指導者が2年ごとに持ちまわりでスズキ・メソッドの発展に向けて工夫を凝らした多彩なプログラムを準備します。2019年は「継承と再創造」をテーマに、ベテラン指導者から次世代指導者への「スズキ・メソッド」の思想・理念の継承と、現代社会に適した「スズキ・メソッド」の創造をテーマに開催しました。演奏法、指導法など教室レッスンに直結した事から、幼児教育や人間形成に果たす音楽や言葉の役割の勉強など、この研究会がスズキ・メソッド指導者の重要な充電の機会となっています。そして毎年この研究会で全国の指導者が一堂に会して交流することが、何よりもスズキの団結を支えています。

／ここがスズキ・メソッド!!／

どの子も育つ、育て方ひとつ

スズキ・メソッドの創始者鈴木鎮一は、才能は生まれつきのものでなく、育てるもの、そしてどの子どもでも正しく導いてあげれば立派に成長できる、と訴えました。それは赤ちゃんが生まれた時からお母さんの言葉を繰り返し聞いて真似をして、やがては立派に母国や方言を話すようになる、そこには一人の落後者もない、という事実から得た大きな発見でした。スズキ・メソッドでは、子どもの「やってみよう」という気持ちを大切に、ほめて育てていきます。そこから自主性が生まれ、教室や家庭でのレッスンを通して集中力や忍耐力が養われます。目標に向かっての毎日の積み重ねと、到達した時の達成感、音楽を通して育つ感性とともに、人間形成に大きな役割を果たしていきます。



4/1～3



ブライアン・ミュージック・キャンプ

13回目を迎えたブライアン・ルイス先生(アメリカ・スズキ)のミュージック・キャンプ。23名の指導者を含む総勢160名の参加者が淡路島(兵庫県)に大集合。クラス別レッスンやグループレッスンなど盛りだくさんのプログラムで音楽漬けの3日間を過ごしました。

4/28



スズキ・メソッドの子どもたち
 ピアノ10台のコンサート

世界でも珍しい「ピアノ10台のコンサート」。2019年は足掛け33年で20回目の記念コンサートでした。舞台いっぱいに並んだピアノ10台が、まるで一人が演奏しているように聴こえる完璧に息のあった演奏。ピアノ科松本支部に加え、アメリカ、オランダからの参加者も熱演を披露しました。

5/12



ピアノ科研究会

ピアノ科主催の自主研究会。前半は、幼稚園児から高校生までの16名が演奏し講評をいただくという形式、後半はピアノ科特別講師で特別講師長の東誠三先生のお話と演奏。生徒たちは東先生の前で終始緊張していましたが、後半では先生の模範演奏に熱心に傾聴していました。

5/12



OB・OG会第12回コンサート

OB・OG会はスズキ・メソッドを卒業した後も楽しく集い、定期的にコンサートを開催しています。「OB・OG会第12回コンサート」には、OB・OGで編成された小オーケストラにスズキ・メソッド出身の世界的ヴァイオリニストの渡辺玲子さんが登場されました。渡辺さんの神がかり的なオーラに満ちた演奏は、スズキで学ぶ全員にとってたいへんな刺激となりました。

7/21



歌声サロン～音楽の小径～

松本市の鈴木鎮一記念館の市民参加型オリジナル企画が2019年7月よりスタートしました。毎月第3日曜日に記念館展示室に自由参加の市民が集まり、童謡唱歌、懐かしの歌などを歌います。2019年は合計8回実施し、418人が参加しました。このようなイベントで、記念館にある貴重な展示品の見学を通して、スズキ・メソッド創始者の鈴木鎮一についても身近に知っていただく機会を増やすことを目指しています。

その他の活動

- 6/6 ヴィオラ研究会
- 7/1 ピアノ科指導者のための勉強会



8～11月の活動

夏期学校

開催期間 2019年7月30日(火)～8月2日(金)
開催地 長野県松本市
参加国 アメリカ・中国・台湾・香港・マレーシア・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・ルーマニア
参加者数 総勢2300名(海外:約150名)

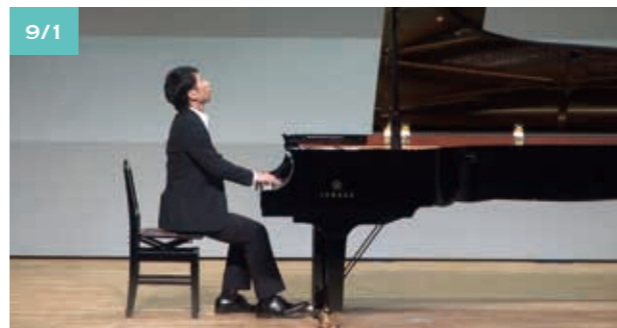
1951年から続いているスズキ・メソードを象徴する最大イベントであり、松本の夏の風物詩となっている夏期学校。2019年は68回目の開催で国内外より約2300名が集まりました。信州の観光も併せて毎年参加を楽しみにしている家族も多く、また近年は海外からの参加者も増加しています。期間中は松本市の駅前通りを中心に楽器ケースや楽譜を抱えた親子連れの姿が松本の街に溢れます。国内外から集まった生徒が同じ曲を習っている友達と一緒にたくさんの教室に分かれて普段とは違う先生の楽しいレッスンを受講します。また、特別講師や一流奏者のコンサート・レクチャーなど刺激に満ちたプログラムもあり、スズキ・メソードならではの巨大サマー・ミュージック・キャンプです。

／ここがスズキ・メソード!!／



よい音、よい心

子どもは周囲の環境から何でも敏感に吸収します。この時期に良い音楽を繰り返し聴く事で優れた音楽性、優れた感覚が身につきます。よい音楽、立派な演奏を繰り返し聴いた子どもたちは、耳から入った曲を自然と暗譜で弾けるようになるだけでなく、優れた音楽、優れた演奏に少しでも近づこうと努力します。スズキ・メソードでは曲を弾けるようになるだけでなく、「音は心」と捉え、弾けるようになった曲を更に練習し、美しい音で演奏することを大切にしています。そしてそれが高い音楽性、人間性を育む基礎となります。75年に渡りスズキの指導者は「音と心」をテーマに指導法、練習方法を研究し続けてきました。これからもこの研鑽は続きます。



9/1 **ピアノ科研究科全課程卒業生コンサート**

関東地区ピアノ科の有志指導者により誕生したコンサートで、今回で21回目を迎える伝統のイベントです。2019年は、30人のソロ演奏、1組のデュオ演奏が披露されました。スズキ・メソードのピアノ科全課程を修了して、「コンサートの場が欲しい」「喜びや感動を分かち合える仲間の会ができれば」という生徒の願いへの素晴らしいプレゼントとなっています。



10/6 **第55回甲信地区大会**

スズキ・メソードは全国9地区で地区大会を行っています。発祥地である甲信地区の地区大会は特に歴史が古く、2019年は56回目となりました。当日は0～3歳児コースのちびちゃんのカスタネット演奏、ピアノ独奏、チェロアンサンブル、ヴィヴァルディの四季、最後はキラキラ星の大合奏と盛りだくさんのプログラムで充実の1日でした。



10/11~13 **第2回International Teacher Trainers Convention**

2019年10月にスペイン・マドリッドに全世界のスズキ・メソードのTeacher Trainer(指導者養成に責任をもつベテラン指導者)が集まり、シンポジウムを開催しました。日本からは指導者ら7名が参加しました。期間中、共通・個別の様々なシンポジウムや交流会が設定され、世界中のスズキ・メソード指導者と最新の指導法についての研究発表など刺激に満ちた3日間でした。2022年秋には松本市での開催が予定されています。



11/25 **フランシスコ教皇 御前演奏(東日本大震災被災者の集い)**

ローマ教皇として38年ぶりに来日されたフランシスコ教皇が11月25日に行われた東京・半蔵門のベルサール半蔵門での「東日本大震災被災者の集い」で祈りを捧げられました。当日は指導者と生徒総勢24名が豊田耕児名誉会長の指揮で3曲を演奏し、フランシスコ教皇のお祈りを音楽で支えました。



11/30 **フルート科指導者たちによる研究会**

スズキ・メソードのフルート科は小所帯ですが、そのぶん団結力は抜群です。フルート科指導者全員が特別講師の宮前文明先生のもとに集まり、初級から上級の教本の重点楽曲について指導ポイントなどを皆で研究し成果を共有しました。宮前先生は米国ピッツバーグ在住の精神科医師で、スズキ・メソードでは日本だけでなく米国やアジアのスズキ・メソードのフルート科を指導していただいています。

その他の活動

- 8/19 第8期定時総会
- 9/29 総合舞台劇
「音にいのちあり～鈴木鎮一 愛と教育の生涯～」
- 10/14~16 国際スズキ協会 (ISA) 理事会



01. 活動報告

12～3月の活動



卒業検定制度

実施期間 (録音提出) 毎年10月～11月
(検定提出) 毎年12月～1月

実施方法 ・スズキ・メソッド指導者が生徒の課題曲録音を本会事務局に提出
・検定委員(本会指導者・特別講師)による検定結果が指導者及び生徒に通知される

検定数 4189本
(提出録音本数) ・ヴァイオリン科: 2385本 ・ピアノ科: 1568本
・チェロ科: 201本 ・ヴィオラ科: 3本
・フルート科: 32本

スズキ・メソッドには初歩から上級者まで教本の進捗により10(チェロ科・ピアノ科は9)の課程があり、各課程終了時には定められた課題曲の録音を提出し、卒業検定委員の厳しい審査に合格すると卒業証書が授与されます。生徒はこの卒業証書を目指して毎日精進し、楽器演奏の向上だけでなく、日常生活での表現力や集中力など生活の基礎も強化されていきます。鈴木鎮一は全国から集まる数千本の録音をすべて一人で聴いて、生徒の演奏の音だけで指導者の日ごろの指導を厳しく判断していました。現在は卒業検定委員の指導者・特別講師に引き継がれ、生徒の奏でる音が自分たちの日ごろの指導の結果であると真摯に受け止め、指導力向上に励んでいます。

／ ここがスズキ・メソッド!! ／



松本から世界へ

スズキ・メソッド創始者の鈴木鎮一は、1930年代に江藤俊哉や豊田耕兒など後に世界で活躍する優れたヴァイオリニストを幼児期から指導しました。終戦直後、松本市の有志は三顧の礼を持って鈴木鎮一を迎え、1946年に「松本音楽院」がスタートしました。これがスズキ・メソッドの出発点でした。鈴木鎮一はここで育った生徒と一緒に全国を演奏旅行し、感動した人々の熱望で全国に教室が広がりました。1964年に10名の子どもの米国演奏旅行が実現すると大成功を納め、この成功からスズキ・メソッドは全米に広がり更には全世界に飛躍的に拡大しました。現在では46の国と地域で40万人以上の生徒がスズキ・メソッドで音楽を習っています。米国を始め多くの国では学校カリキュラムの一部としてスズキ・メソッドが採用されています。



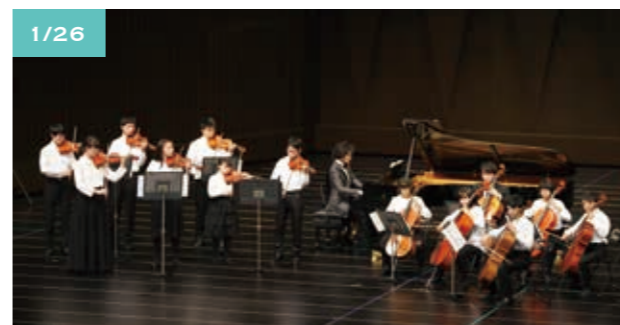
12/1 第87回鈴木鎮一記念館コンサート

スズキ・メソッド創始者の鈴木鎮一の邸宅跡で行われた鈴木鎮一記念館コンサート、今回お迎えしたのは、スズキ・メソッド出身で読売交響楽団コンサートマスター(当時)でヴァイオリニストの伝田正秀さん。伝田さんは素朴なお人柄そのものの親しみやすい軽妙なトークと素晴らしい音色で、満席の聴衆を魅了しました。最後はツィゴイネルワイゼンやアルプス一万尺を超絶技巧変奏曲にアレンジした珍しい曲を立派に演奏し、鈴木先生の直弟子である豊田耕兒名誉会長も感動しきりでした。



12/9・27 ヴィオラ研究会

12月9日はスズキ・メソッド出身で現在英国王立音楽院教授の井上祐子先生をゲストにお招きし、東京で開催しました。27日は松本市で豊田耕兒名誉会長のご指導で、バッハの「ブランデンブルク協奏曲第6番」を研究しました。両日ともスズキ・メソッドのヴィオラ指導者が大集合し、ヴァイオリンとは違うヴィオラ独特の奏法や解釈などを真剣に研究しました。スズキ・メソッドはヴィオラの指導においても研究を深めています。



1/26 関西グランドコンサート

4年ぶりの「関西グランドコンサート」が昨秋、グランドオープンしたばかりのフェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)で開催されました。生徒たちが立派な斉奏で普段の練習の成果を披露しました。スズキ・メソッド出身のピアニスト、田中正也さんがゲスト出演し、立派な演奏で生徒さんたちに自信と希望をプレゼントしてくれました。



2/10 アジア・パシフィックのチェロ科指導者によるワークショップ

アジア・パシフィック・スズキ・チェロ・ワークショップを東京で開催。アジアとオセアニアのスズキ協会に呼びかけ、当初からの目的でありました「海外のスズキ・チェロ指導者の参加を迎えてのワークショップ開催」が実現し、各国のスズキの活動などを紹介しました。

その他の活動

- 1/13 関東地区指導者新年研究会
- 1/25 鈴木鎮一夫妻の追悼ミサ
第2回スズキ教育法研究会
- 1/26 豊田耕兒名誉会長によるマスタークラスコンサート
- 2/7~9 アジア・パシフィック・チェロ・コンGRESS2020
- 2/9 スズキ・メソッドの指導者養成プログラム説明会/竹澤恭子先生のマスタークラス



“コロナ”の時代を生きる ～オンラインレッスンへの挑戦～

2020年、突如として襲った新型コロナウイルス感染拡大による行動制限は、スズキ・メソッドの教室レッスンを直撃しました。世界のスズキ指導者は一斉にオンラインレッスンへの挑戦を開始しました。



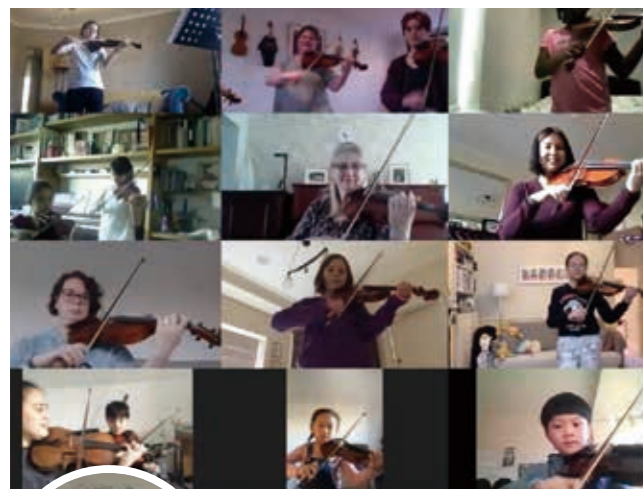
ロンドン ヴァイオリン科指導者
根上 路子 先生

できるだけ「いつもどおり」を
心がけています。



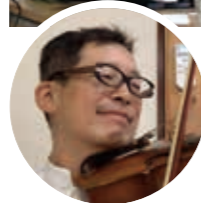
関西地区 ヴァイオリン科指導者
宮原 正治 先生

Webを活用した新たなレッスン、
新たな楽しみで意欲つくり。



オーストラリア チェロ科指導者
水島 隆郎 先生

一緒に弾く中に、
「能力の法則」があるのです。



九州地区 ヴァイオリン科指導者
中川 慎 先生

子どもたちのモチベーションを
アップさせる工夫が必要です。

スズキ指導者の取り組み

スズキの指導者は教室での個人レッスンだけでなく、奏法や教育法についての自主研究会や幼稚園でのレッスンなどスズキ・メソッドの進化と発展に常に取り組んでいます。



幼稚園でスズキを広める

幼稚園でスズキ・メソッド！
一緒にスズキ・メソッドを広めてくれる幼稚園を
全国で募集中です。

「認定子ども園 光が丘幼稚園」(宮崎県宮崎市)ほか全国6園



スズキ・メソッドを振り下げる

次世代指導者がベテラン指導者を囲んで
スズキ・メソッドの指導法を研究します。

スズキ教育法研究会(長野県松本市)



指導者として演奏を極める

スズキ指導者の研鑽は一生涯続きます。
一生徒になって日ごろの研鑽の
成果をステージで披露。

豊田耕児名誉会長のマスタークラスコンサート(長野県松本市)



0歳児からスズキ・メソッドを！

赤ちゃんの時こそ最高の環境を。
乳幼児教育の訓練を受けた指導者が
赤ちゃんと保護者に寄り添います。

スズキ・メソッド0～3歳児コース教室(全国12教室)



外部評価委員会からの提案

スズキ・メソッドは将来の発展に向けて外部の有識者や学術機関との交流を積極的に進めています。外部評価委員会の当日は、日本国内でのスズキ・メソッドの活動について、課題共有、意見交換が行われました。外部評価委員からは新しい視点での豊富な提言をいただき、本会の長期課題として取り組んでいます。

外部評価委員会(2017年4月23日実施)

※2017年当時の肩書きを使用しています。

公益団体であることは教育委員会へのアプローチの上で強みになります。



早稲田大学人間科学学術院准教授
桂川 泰典 先生

皆が改革を我が事だと思って真剣になるプロセスが大切です。



愛知東邦大学長
榎 直樹 先生

東京大学との共同研究は全プロセスを収録して広くTVで公開することです。



ジャーナリスト
公益財団法人サイトウ・キネン財団評議員
小林 和男 先生

私たちはこのように自己分析しています。



公益社団法人 才能教育研究会 会長
早野 龍五

若い先生たちに情熱があるかないかでお子さんや両親に伝わるものがかかります。

チェリスト
サントリーホール館長
堤 剛 先生

学校を地域コミュニティで支える動きに全国津々浦々のスズキの先生の出番があるのでは

一般社団法人エル・システマジャパン代表理事
菊川 穰 先生

スズキを知らないお母さんを惹きつける動画の広報が絶対必要です。

毎日新聞社生活報道部編集委員
小島 正美 先生

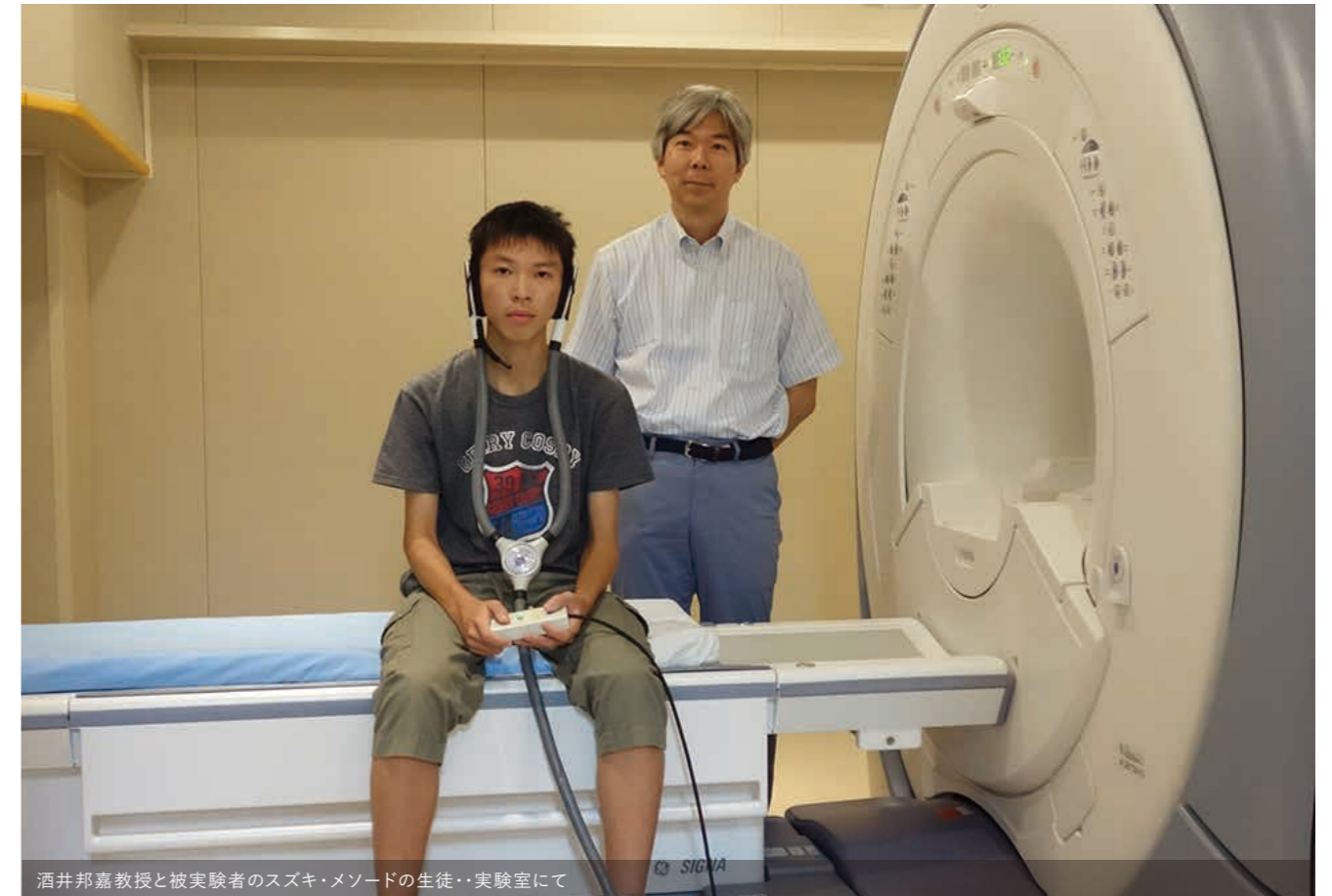
情熱を持った若い指導者が増える良い施策が必要です。

東レ株式会社先端融合研究所長
米原 徹 先生

	強み	弱み
内部	<ul style="list-style-type: none"> ・スズキ理念の浸透共有 ・全世界共通の教本/音源 ・個人レッスンだけでない定期集合イベント ・音楽分野での優秀なプレーヤーの輩出実績 ・あらゆる分野で活躍する優秀な人材多数 	<ul style="list-style-type: none"> ・創始者後の変革が停滞 ・ブランド認知度の恒常的低下 ・公益の強みを駆使した活動が弱い ・指導者の高齢化 ・公益団体ゆへの縛り
外部	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の重要性についての認識アップ ・健全な親子関係構築への支え ・70年の伝統による豊富なOB/OGの存在 ・発祥の国として世界に誇れる存在感 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く母親の増加で「親も一緒」がネックに ・スズキ・メソッド活用の競合塾が成長し優位性、差別化が減退 ・耳から覚える楽器習得メソッドに対する批判

東京大学との共同研究

スズキ・メソッドの能力開発、人格形成での優位性は、70余年に渡る40以上の国と地域での広がりが証明しています。これを更に脳科学の見地から科学的に解明しようという意欲的な取り組みを、2017年より東京大学酒井研究室と共同研究で進めています。



酒井邦嘉教授と被実験者のスズキ・メソッドの生徒・実験室にて

スズキ・メソッドの母語教育法の優位性を脳科学で解明する意欲的な取り組み

スズキ・メソッドは、赤ちゃんが毎日繰り返し言葉を聞いていつの間にか母語や方言を話せるようになる能力を、音楽演奏の習得に応用しています。一方、酒井研究室は20年にわたって言語習得の脳内機構を明らかにする研究をしてきました。共同研究では、特に「演奏評価」に着目して、人間に固有の言語機能との連関を明らかにします。具体的には、同じ曲の異なる演奏を参加者に聞かせ、どちらがより音楽的に優れた演奏かを判断する際の脳活動をMRI(磁気共鳴画像)で可視化します。これらの実験でスズキ・メソッドの生徒とそれ以外の生徒とを比較対照し、音楽経験に基づく個人差や、曲への客観的把握能力と可視化された脳活動を対比させ、脳のどの部分が演奏優劣の判断と相関するかを解明します。

2022年に研究結果を発表予定

2019年度は第3年次となり、研究結果によりスズキ・メソッドの特徴や優位性が徐々に解明されつつあります。2020年度は音源を単旋律楽器のヴァイオリン・フルートから多旋律楽器であるピアノに拡大し、練習方法の違いが脳の働きに与える影響なども掘り下げていきます。共同研究は2022年までの5年間で終了し研究結果を発表する予定です。



指導者研究会で指導者に向けて研究内容をわかりやすく解説



米国在住のフルート科特別講師の宮前丈明先生(写真手前左)も積極的に参加

2019年度 会計報告

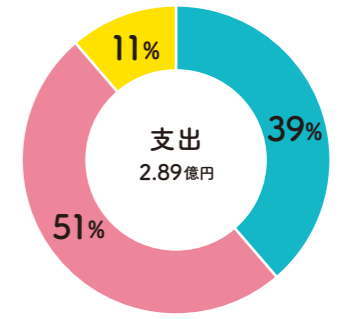
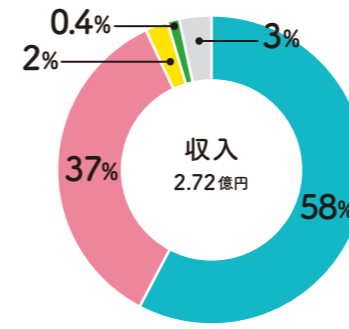
貸借対照表 令和2年5月31日現在 税込 単位：円

●資産の部	●正味財産の部
1.流動資産	1.指定正味財産
現金預金 59,668,805	地方公共団体補助金 18,574,592
未収会費 10,112,500	寄付金 41,264,340
未収金 1,518,732	指定正味財産合計 59,838,932
前払金 4,748,868	(うち基本財産への充当額) (51,349,994)
貯蔵品 3,983,986	(うち特定資産への充当額) (8,488,938)
商品 11,367,103	2.一般正味財産 813,279,593
仮払金 212,160	(うち基本財産への充当額) (410,911,201)
徴収不能引当金 △842,035	(うち特定資産への充当額) (269,641,327)
流動資産合計 90,770,119	正味財産合計 873,118,525
2.固定資産	負債及び正味財産合計 972,926,023
(1)基本財産	
土地 44,935,056	
建物 305,489,48	
減価償却引当資産 111,836,991	
基本財産合計 462,261,195	
(2)特定資産	
什器備品 1,783,355	
退職給付引当資産 60,540,52	
役員退職慰労引当資産 1,120,000	
建物・設備更新積立資産 96,324,746	
所有建物耐震補強等整備積立資産 68,841,171	
グランドコンサート事業積立資産 26,718,130	
0～3歳児教室及び生涯学習 9,200,000	
広報活動積立資産 10,000,000	
代教事業積立資産 16,569,891	
鈴木鎮一基金積立資産 43,332,457	
共同研究事業積立資産 1,500,000	
災害支援金積立資産 3,860,515	
特定資産合計 339,791,217	
(3)その他固定資産	
建物 37,667,260	
構築物 4,885,428	
車両運搬具 1	
什器備品 11,131,785	
ソフトウェア 957,126	
商標権 646,901	
電話加入権 364,791	
有形リース資産 263,748	
無形リース資産 161,652	
保証金 23,800,000	
長期貸付金 224,800	
その他固定資産合計 80,103,492	
固定資産合計 882,155,904	
資産合計 972,926,023	
●負債の部	
1.流動負債	
未払金 12,244,094	
未払法人税等 141,000	
未払消費税等 1,853,800	
前受会費 7,206,600	
前受金 783,950	
預り金 1,465,507	
仮受金 113,620	
賞与引当金 706,194	
1年以内返済予定リース債務 459,432	
流動負債合計 24,974,197	
2.固定負債	
リース債務 0	
退職給付引当金 60,540,952	
役員退職慰労引当金 1,120,000	
資産除去債務 13,172,349	
固定負債合計 74,833,301	
負債合計 99,807,498	

正味財産増減書 令和元年6月1日～令和2年5月31日 単位：円

●一般正味財産増減の部	諸謝金 34,946,690
1.経常増減の部	租税公課 6,696,245
(1)経常収益	支払寄付金 118,607
①基本財産運用益	支払利息 22,929
基本財産受取利息 2,576	支払手数料 3,458,643
基本財産運用益計 2,576	調査研究費 2,777,778
②特定資産運用益	委託費 12,915,712
特定資産受取利息 20,599	派遣費 164,860
特定資産運用益計 20,599	教材費 5,567,873
③受取入金	雑費 3,659,664
受取入金 4,130,000	②管理費
受取入金計 4,130,000	役員報酬 10,675,170
④受取会費	給料手当 11,943,164
正会員受取会費 17,943,400	賞与引当金繰入額 140,596
維持会員受取会費 130,558,400	退職給付費用 1,449,953
賛助会員受取会費 892,000	役員退職慰労引当金繰入額 640,000
受取会費計 149,393,800	福利厚生費 2,768,508
⑤事業収益	会議費 130,342
運動推進事業収益 2,867,991	旅費交通費 3,117,022
情操教育事業収益 631,354	通信運搬費 1,964,144
指導者養成事業収益 1,430,478	減価償却費 9,507,495
指導者研究会事業収益 15,106,484	消耗品費 540,842
夏期学校事業収益 26,598,985	修繕費 622,695
コンサート事業収益 0	印刷製本費 184,935
卒業事業収益 20,719,547	広告宣伝費 1,112,866
研究教材収益 3,436,439	燃料費 13,070
会誌収益 1,137,963	光熱水料費 1,318,493
物品販売事業収益 4,697,093	賃借料 606,159
教室使用料収益 18,442,548	保険料 883,372
事業収益計 95,068,892	諸謝金 5,150,000
⑥受取補助金等	租税公課 1,928,041
受取地方公共団体補助金 2,300,000	支払負担金 1,664,545
受取民間補助金 500,000	支払寄付金 47,000
受取補助金等振替額 554,335	支払利息 12,619
受取補助金等計 3,354,335	支払手数料 700,435
⑦受取負担金	委託費 1,766,191
鈴木鎮一記念館管理受託金 2,839,732	雑費 3,729,695
受取負担金計 2,839,732	経常費用計 287,023,513
⑧受取寄付金	評価損益等調整前当期経常増減額 △19,760,328
受取寄付金 1,050,000	評価損益等計 0
受取寄付金振替額 3,070,726	当期経常増減額 △19,760,328
受取寄付金計 4,120,726	
⑨雑収益	2.経常外増減の部
受取利息 537	(1)経常外収益
受取印税 7,049,31	徴収不能引当金取崩額 0
雑収益 1,282,757	過年度事業費修正額 283,950
雑収益計 8,332,525	経常外収益計 283,950
経常収益計 267,263,185	(2)経常外費用
(2)経常費用	徴収不能額 0
①事業費	徴収不能引当金繰入額 0
役員報酬 95,000	什器備品除去損 0
給料手当 47,148,221	夏期学校準備費用 1,275,740
臨時雇賃金 285,542	過年度事業収益修正額 108,550
賞与引当金繰入額 565,598	経常外費用計 1,384,290
退職給付費用 3,923,925	当期経常外増減額 △1,100,340
福利厚生費 8,013,104	税引前当期一般正味財産増減額 △20,860,668
会議費 3,829,762	法人税、住民税及び事業税 141,000
旅費交通費 25,410,443	当期一般正味財産増減額 △21,001,668
通信運搬費 7,402,458	一般正味財産期首残高 834,281,261
減価償却費 16,008,700	一般正味財産期末残高 813,279,593
消耗品費 4,749,429	
修繕費 540,318	●指定正味財産増減の部
印刷製本費 5,857,715	①一般正味財産への振替額
広告宣伝費 2,675,547	一般正味財産への振替額 △3,625,061
燃料費 92,750	当期指定正味財産増減額 △3,625,061
光熱水料費 2,944,568	指定正味財産期首残高 63,463,993
賃借料 23,501,896	指定正味財産期末残高 59,838,932
保険料 972,184	●正味財産期末残高 873,118,525

2019年度 収入と支出の内訳



●会費収入 ●事業収入 ●補助金・助成金 ●寄付 ●その他

●共通運営費用 ●事業活動費用 ●維持費用及び積立

スズキ・メソッドは会員(主に指導者及び生徒保護者)からの会費が収入全体の約60%を占めています。その他は指導者研究会・夏期学校・卒業検定等の主要事業の収入(参加費や検定料など)が主な収入源です。2019年度は新型コロナウイルス感染拡大により、2020年4月5月の2ヶ月分の会費減免を実施し、通年より会費収入が大きく落ち込みました。

スズキ・メソッドの支出は約40%が通常運営にかかわる共通運営費用、約50%が事業活動費用(指導者研究会・夏期学校・卒業検定等の戦略的な公益事業)、その他が将来の為の維持費用及び積立となっています。

ご支援のお願い(賛助会員のご案内)



一般会員・個人

本会の目的および事業に賛同し、支援をする個人。

●年額会費 5,000円

●支払い方法

入会手続き後、コンビニ払い伝票を送付させていただきます。
※手数料はご負担願います。
※2021年1月からクレジットカードでのお支払いとなります。



協力会員・法人

本会の目的および事業に賛同し、支援をする法人。

●年額会費 30,000円(一口)

●支払い方法

入会手続き後、下記口座まで銀行振込でお支払ください。
※手数料はご負担願います。

支店名 リソナ銀行松本支店
当座預金 0539712
名義 公益社団法人才能教育研究会

スズキ・メソッドのWEBにアクセスし、「賛助会員入会のご案内」をご覧ください。
※2021年1月以降は変更になる予定です。詳しくは以下にお問い合わせください。

TEL 0263-32-7171(代表) MAIL talent@suzukimethod.or.jp

スズキ・メソッド



https://www.suzukimethod.or.jp/sanjo/

賛助会員には次の特典があります

- 1 会報・機関誌を送付
- 2 本会主催事業への案内状を送付
- 3 会報、機関誌、webサイトへ法人名を掲載



会長 早野 龍五

皆様のお力添えに感謝いたします。

子どもたちが楽器を通して真剣に打ち込む姿と、できたときの喜びは、大きな人間的成長を促す力となります。私たち、スズキ・メソッドは、「どの子どもも育つ」ことを大切に、そして、時代が移っても変わることなく、さらに拡充、発展させたいと願っております。

スズキ・メソード 75年の歩み



スズキ・メソード創始者
鈴木 鎮一

1898年10月17日名古屋市に生まれる。市立名古屋商業学校卒業後、1920年に上京、徳川義親侯爵家に寄宿してヴァイオリンを安藤幸(幸田露伴の妹)に師事する。翌年、徳川侯爵の世界一周旅行に同行してベルリンに留学。カール・クリングラーに学び、また相対性理論で有名なアルベルト・アインシュタインからも薫陶を受ける。1928年ワルトラウト・ブランゲと結婚し帰国。帰国後3人の弟たちと「鈴木クワルテット」を結成、活発な演奏活動を始める。1931年ロシアのヴァイオリニスト、アレキサンダー・モギレフスキーらとともに帝国音楽学校を東京に設立し、教授に就任、その後校長となる。1937年頃から江藤俊哉、豊田耕児、小林武史・健次兄弟、鈴木秀太郎、有松洋子らを指導する。1943年長野県木曾福島に疎開。1946年長野県松本市下横田に松本音楽院を開設し、院長に就任。同年才能教育研究会の前身である「全国幼児教育同志会」を結成、1948年に「才能教育研究会」と改称する。1979年松本市名誉市民に推戴される。1996年松本市に鈴木鎮一記念館が開館。1998年1月26日永眠。享年99歳。

1940年代

1946年(昭和21年) 9月、松本市下横田に松本音楽院創設。鈴木鎮一院長就任。才能教育研究会の前身「全国幼児教育同志会」を結成。

1950年代

1950年(昭和25年) 10月、「社団法人才能教育研究会」が設立認可。
1951年(昭和26年) 長野県霧ヶ峰高原で第1回夏期学校開催。生徒109名と指導者11名が参加。
1955年(昭和30年) 3月、東京体育館での第1回全国大会(現グランドコンサート)に1200名の生徒が参加。
1956年(昭和31年) 第1回全国指導者研究会(松本市郊外)に41名が出席。

1960年代

1964年(昭和39年) 3月、第1回海外演奏旅行。10人の生徒(テン・チルドレン)がアメリカ各地で演奏。
1966年(昭和41年) 鈴木会長 アメリカ・ボストンのニューイングランド大学より名誉音楽博士号。1993年までに欧米の9つの大学から名誉音楽博士号・名誉博士号を受ける。
1967年(昭和42年) 8月、松本市深志に才能教育会館落成。アメリカ弦楽指導者協会(ASTA)のメンバー68名が来日し、夏期学校を視察。
1970年(昭和45年) 大阪万博の国連デーに1000名の生徒たちが、お祭り広場で祝賀演奏。鈴木会長 勲三等瑞宝章。

1970年代

1975年(昭和50年) 6月、第1回世界大会をハワイで開催。日本、アメリカ、オーストラリアなどから指導者・生徒・父母870名余が参加。
1979年(昭和54年) 6月、第4回世界大会を初めてヨーロッパ(ドイツ・ミュンヘン)で開催。鈴木会長 松本市名誉市民に推戴。

1980年代

1982年(昭和57年) 10人の生徒による第1回ヨーロッパ演奏旅行(イギリス、ベルギーなど4ヵ国)。鈴木会長 フランスより教育功労勲章。85年にはドイツ連邦共和国より功労勲章一等功労十字章を授与される。
1983年(昭和58年) 日米22名の生徒が初の中国演奏旅行(上海、西安、北京)。7月、第6回世界大会を初めて日本(東京・松本)で開催。世界22の国と地域から1500名が参加。
1989年(平成1年) 第9回世界大会を松本市で開催。日本での開催は2回目。

1990年代

1991年(平成3年) 鈴木会長が英サンデータイムス紙の特集「20世紀をつくった1000人」の中の1人に選ばれる。
1994年(平成6年) 10人の生徒による初の東南アジア演奏旅行(マレーシア、フィリピン)。
1996年(平成8年) 4月、鈴木鎮一記念館が松本市に開館。
1998年(平成10年) 長野冬季オリンピック記念コンサート「平和への演奏、世界へ響け1000人の子どもたち」に、20数ヵ国の生徒が出演。(長野市)
1999年(平成11年) 3月、第45回グランドコンサート(東京)と第13回世界大会(松本)を開催。夏期学校が第50回を迎える。豊田耕児会長就任。

2000年代

2002年(平成14年) 信州大学と研究協力協定を結ぶ。
2004年(平成16年) 第50回記念グランドコンサート(日本武道館)と国際シンポジウムを開催。
2007年(平成19年) スズキ・メソード 0〜3歳児コースがスタート。
2008年(平成20年) 中嶋嶺雄会長就任。
2009年(平成21年) 夏期学校が第60回を迎える。

2010年代

2013年(平成25年) 3月、第16回世界大会を松本で開催。日本で4回目の大会に世界36の国と地域から5400名が参加。鈴木裕子会長就任。
2016年(平成28年) 才能教育研究会創立70周年記念イヤー。
2017年(平成29年) 早野龍五会長就任。東京大学と共同研究契約を結ぶ。
2019年(令和元年) 11月、ローマ教皇フランシスコ来日時にスズキ・メソードの生徒、指導者が御前演奏。

私たちがスズキ・メソードを応援しています ~特別講師陣からのメッセージ~



東 誠三 先生
ピアノ科特別講師・特別講師長

コロナ禍が終息し、以前にも増した“空気を通してのコミュニケーション”が行える時がくることを、心より楽しみにしております。



菊地 知也 先生
チェロ科特別講師

鈴木先生の「音に命あり、姿なく生きて」という言葉は私の基盤となっています。オンライン化が進む今こそ、ハートを大切に音楽に向き合いたいと思います。



竹澤 恭子 先生
ヴァイオリン科特別講師

コロナで止まった2ヶ月間は、人間にとって音楽とは何なのかを見つめ直す機会になりました。皆様と共に成長し、様々なことにチャレンジしたいと思っています。



山本 裕康 先生
チェロ科特別講師

スズキ・メソード、そして松本は、僕を育ててくれた大事な場所。勉強してきたことを総動員して少しでもスズキ・メソードのお役に立てたらと思っています。



江口 有香 先生
ヴァイオリン科特別講師

ご飯がいただけて、笑うことができ、音楽があつて、ありがとうを言うことができるだけでありがたい。音楽を通して今日できる限りのことをしたいと思います。



宮前 丈明 先生
フルート科特別講師

こんな時にこそ音楽の力は重要です。在宅時間が増えた分、お手本となる美しい音楽と自分の音色に落ちていく姿を楽しみに、一生懸命お手伝いさせていただきます。



荻原 尚子 先生
ヴァイオリン科特別講師

世の中が未だかつてない状況の中、大自然の一部である音楽が身近にあることはとても幸せなことです。音楽を通して皆様のお役に立てるよう、精進いたします。



白井 文代 先生
ピアノ科特別講師

一音を大切に。音の成長とともにお子さんが成長されていく姿を楽しみに、一生懸命お手伝いさせていただきます。



倉田 澄子 先生
チェロ科特別講師

多くの音楽家が演奏会の中止や延期を余儀無くされることに心を痛めております。1日も早く、音楽とともに心豊かな生活に戻ることを祈ってやみません。



村尾 忠廣 先生
0〜3歳児コース特別講師

童謡・わらべ唄を編曲した0〜3歳児コースの「スズキsongs」は、ヴァイオリン・チェロ・フルートが伴奏に加わり、楽器科への憧れを誘うようになっています。

スズキ・メソードの特別講師は、スズキ・メソードと縁が深く、国内外の一線で活躍する音楽・教育の専門家です。